

教科シラバス（公民科）

科目名	学年	使用教材	【教科書】 清水書院『新倫理 新訂版』、数研出版『改訂版 政治・経済』
倫理	3年 (文系)		【副教材】 第一学習社『テオーリア 最新倫理資料集 新版二訂』 啓隆社『共通テスト実力トレーニング倫理 2021』
単位数（2） 必修 ・ 選択			

【学習目標】

① 人間尊重の精神に基づき、先哲の思想を手がかりとして、青年期における自己形成及び世界の存在や人間としての在り方生き方について理解と思索を深める。
② 人格の形成に努める実践的意欲を高め、社会の中で生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な資質を獲得する。

【学習方法】

① 授業を中心とした学習 真剣に聴く。ノートは板書を写すだけでなく教師が強調したことをメモする。授業の内容はその時間に理解しその日のうちに身に付けるよう努める。
② 試験勉強 よく整理し、大きな流れをつかみ、その意味や他の事項との関連を十分理解して覚える。
③ 学習にのぞむ態度 授業の前の準備を確実に。予め学習用具を机に出しておく、教科書を開いて読んでおくなど、当たり前のことを確実に。現代の社会の中で起こっていることに関心を持ち、ニュース・新聞などで情報を得よう日頃から努めること。「現代社会」や地理歴史科をはじめ、他の教科・科目との関連を意識すること。一つの知識が複数の教科・科目で役立つことも多い。

【学習評価】

次の4観点に基づき、学習内容のまとめ（定期考査までの学習範囲）ごとに下の評価項目により学期毎に評価（評価点）を行い、年間総合の評価は5段階の評定で総括します。						
① 関心・意欲・態度	社会の在り方や人間の生き方について興味・関心を持ち、それらについて主体的積極的に学ぼうとしているか。					
② 思考・判断	哲学的及び社会科学的な思考力を身につけ、人間の生き方、政治や経済について自ら適切な判断ができるか。					
③ 技能・表現	社会や人間について、自らの力で探究することができ、その結果得られた知識や自分の考えを適切に表現できるか。					
④ 知識・理解	社会や人間にかかわる基本的な諸事項について、確実に理解し、ある程度体系的な知識を獲得しているか。					
評価方法／観点	①	②	③	④		※評価は、定期考査が主ですが、授業態度、提出物等を含めて評価します。
授業態度・出席状況	◎	○	○	○	観察及び自己評価	
プリント（ノート）・課題	◎	○	◎	○	定期的な提出	
考査	○	◎	◎	◎	定期考査（年3回）	

【学習アドバイス】

○ 随時、学習内容に関する質問に答えていますので、理解の難しい箇所があれば、質問し、早めに解決しましょう。進路を踏まえた学習相談（個別指導など）にも応じていますので、積極的に活用しましょう。

【年間学習計画】 注：6月以降については状況により大幅な変更の可能性があります。

月	学習内容（単元）	学習のねらい	学習活動（評価方法）
4			
5	倫Ⅰ 人間観と青年期 倫Ⅱ 源流思想と日本思想	◎ 人間としての在り方生き方への思索の導入とする。 ◎ 世界観・人生観形成の基礎となる先哲の思想を理解する。	提出課題 アンケート・自己評価
6	倫Ⅲ 西洋近代思想	◎ 現代社会の底流にある近代的思考（人間中心主義、科学、民主主義など）を理解する。	定期考査
7			
9	倫Ⅳ 現代に生きる倫理（近代から現代へ）	◎ 現代に直接つながる諸思想について理解する。	定期考査 提出課題 発問評価及び授業態度 自己評価
10			
11	倫Ⅴ 現代に生きる倫理（現代思想Ⅰ） 倫Ⅵ 現代に生きる倫理（現代思想Ⅱ）	◎ 現代に向き合う思想を理解する。 ◎ 現代社会に生きる倫理的態度を培う。	
12	倫Ⅶ 現代の諸課題		
1	まとめ 国公立個別試験及び私立大入試対策	大学入学共通テスト・私大入試・国公立個別試験に対応できる実力をつける。	大学入学共通テスト 私立大入試 国公立大個別試験前期 国公立大個別試験後期
2	国公立個別試験及び私立大入試対策		
3			

【その他】

<p>＜定期考査対策について＞</p> <p>の定期考査を活用して、授業内容の理解と定着を図りましょう。考査対策が受験勉強に直結することを意識してください。</p>	<p>＜対外模試対策について＞</p> <p>対外模試は、自分の未理解・未定着分野の確認ができます。まずは自分の弱点をなくすことに力を注ぎましょう。模試のやり直し、調べ直し、質問など積極的な取り組みが本番の成功につながるの間違いありません。</p>
--	--